

すくすくルームの絵本棚

逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく 本号 由香 2024.9.4

すくすくルームには、定番の人気絵本と季節の絵本を取り揃えています。ゆっくり見たいけれど遊びながらではなかなか…というお声を受け、月ごとにすくすくルームの絵本を紹介します。

おつきさまの絵本を集めてみました

9月の絵本



① 『おつきさまこんばんは』

林明子作・福音館書店

おつきさまが出てきて、隠れて、また出てきて…のお話なのですが、まさに“いないいないばああそび”と同じ！人気のはずです。「おつきさまこんばんは」のセリフの時にペコッとおじぎする子どもの姿がよく見られますよ。

② 『おつきさまこっちむいて』

片山令子文/片山健絵・福音館書店

おつきさまといえば夜、と思いますが、この絵本には昼のおつきさまも登場します。また、丸い月に限らず、色々な形の月があり、そちらも楽しめますよ。親子で月探しをしてみるのもいいかもしれませんね。

③ 『みんなおやすみ』

柿本幸造絵/はせがわさとみ文・学研プラス

おつきさまが色々な場所を見て、みんなが寝ている様子を優しく見守ります。薄紫色の空がとても美しく、癒されます。おつきさまと一緒に、みんなに「おやすみ」と言っている気分になれます。

④ 『おつきさまなにみてる』

なかじまかおり作・岩崎書店

おつきさまが、眠っていることりやこねこを空から見守り、温かい言葉を掛けていくお話です。おつきさまの優しい笑顔にもホッとします。そして最後には、おつきさまもあくびをして…おやすみなさい。

⑤ 『まんまるねんね』

黒井健・ぼるぷ出版

まんまるおつきさまが出る夜。ねこやいぬ、くまがまんまるになり寝ていくお話です。まだ寝ない、と起きていた赤ちゃんも最後には…。黒井健さんの柔らかいタッチの絵を見ていると、ついウトウトしてしまいます。

⑥ 『14ひきのおつきみ』

いわむらかずお作・童心社

14ひきのシリーズの中でも、私が一番好きなお話です。家族みんなでお月見の準備をして最後には美しい満月をめめます。その様子も素敵ですが、私は月が出てくるまでの空の色の変化が好きで、そこを楽しむのもオススメです。